

研究者・技術者は  
自分らしい生き方を  
デザインできる

“素敵な職業”

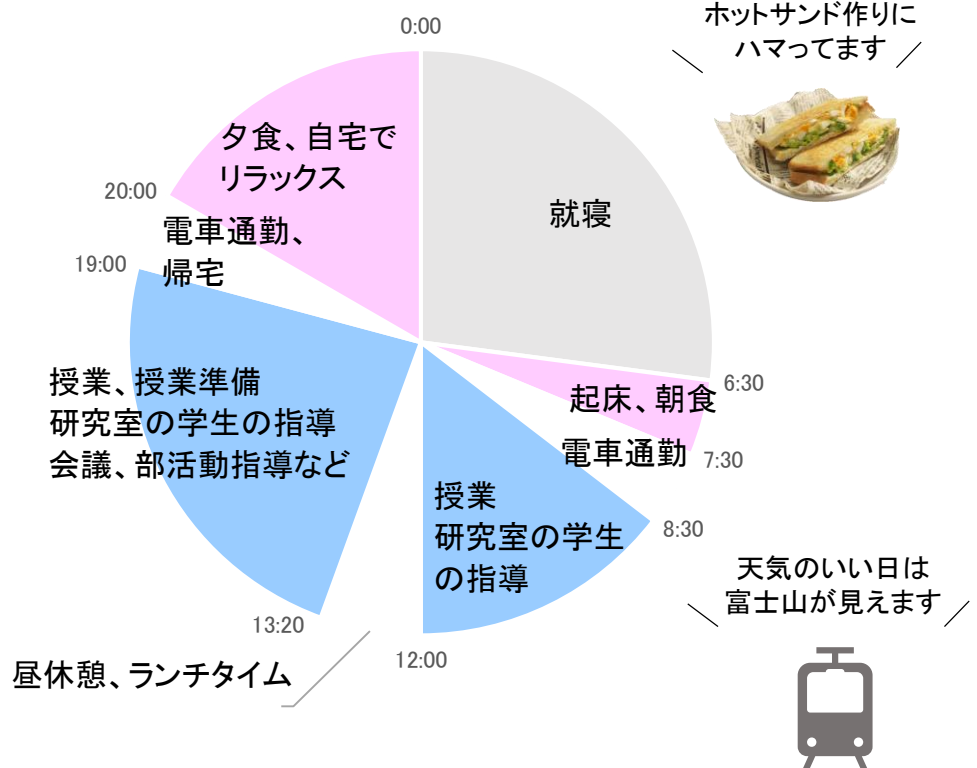
たけだ みさき  
武田 美咲 さん

2020年4月より東京工業高等専門学校  
電気工学科 助教として勤務。  
2021年3月 長岡技術科学大学大学院  
博士課程修了。博士(工学)。

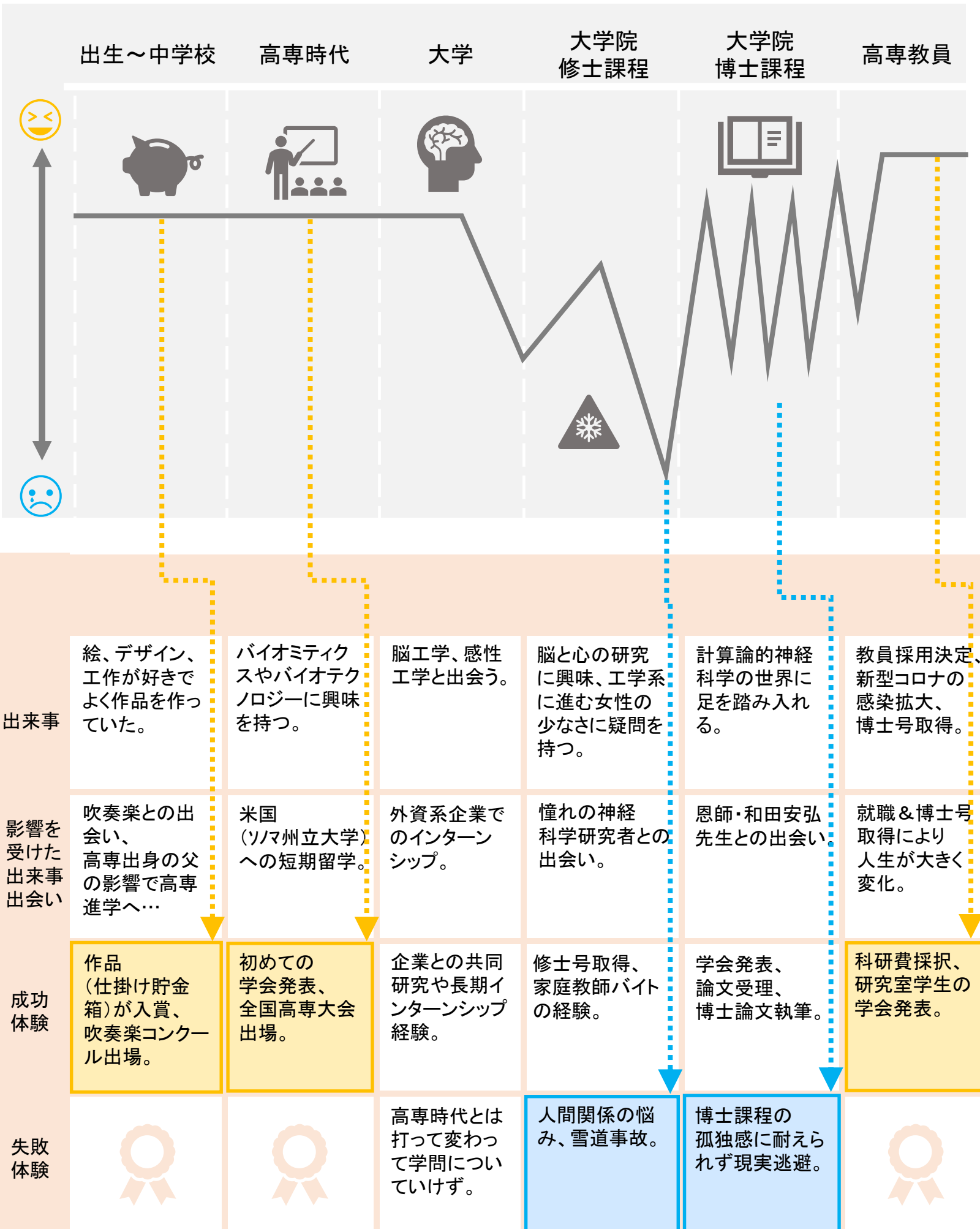
## ✓ 武田さんの 日々のルーティン

**高**専教員の業務は多岐にわたります。部活動の顧問業務で引率に出かけることもあります。半年に1、2回 寮の宿直舎監をする機会があります。

**ラ**ンチタイムや放課後の時間を活用して、教員同士の情報交換(雑談)をすることも大切にしています。ベテランの先生からアドバイスを頂けることも。



# ✓ 武田さん “私のライフチャート”



## ✓ 武田さんにいろいろお聞きしました!

今のこの仕事(職業)を選んだきっかけは?

大学時代に長岡高専教員体験インターンシップに参加したことがきっかけです。

高専の先生方が教育について熱く語り、研究を楽しみ、生き生きされている姿を見て良いなと思いました。

助教のうちから自分の研究室を持てるというのも高専教員の特色の一つです。

この仕事を続けていてよかったと思うところは何ですか?

まだ高専教員になって2年目なので何とも言えませんが、高専教員の魅力を日々発見しております。

例えば、私の研究室の学生がはじめて学会発表したときは、成長を目の当たりにして感動しました。

些細な事であっても、教員にとっては大きな喜びとなる出来事があります。

ロールモデルを教えてください

本欄に書ききれないほど多くの方々が私の人生に大きな影響を与え、模範となってくださいました。

大河内邦子先生はその一人です。大学時代は大河内先生のお人柄に何度も救われました。

学生時代の自分を振り返って

院生時代は一言でいうと”苦しかった”ですが、この苦しく辛い経験が糧となり、今の自分を形作っているように思います。

ただ学生時代はがむしゃらでした。教員になって、学生の時にもっとこうしとけば良かった…と思うことはたくさんあります(笑)。

ワークライフバランスについて教えてください

自分にとっての価値軸を大事にすることがワークライフバランスを保つ秘訣なのではないかと考えています。

私にとって、ワークとライフにおける最優先事項は、

【ワーク】研究・教育活動を通して学生と関わり、一緒に物を作ったり議論をしたりすること。

【ライフ】家族や友人などの大切な人との時間です。

この二つの軸のバランスだけは保ち続けたいと考えています。



社会に出る前の皆さんへメッセージをお願いします!

これを読んでいる皆さんはきっとこの先の将来やキャリアのことに関心がおありなんだと思います。この調子で、ぜひ様々な情報に触れて、たくさんの人と出会い、人生の選択肢を広げてみてください。自分にビビッとくるものと出会えるかもしれません(ビビッとくるものがなくても、時間差でじわじわやってくることもあります)。